

ROBA NEWS



トップニュース：地方鉄道についての報告 三段峡サミットから

平成16年11月7日、前日の鳥根県平田市での第1回鉄道まちづくり会議に引き続いて、旧JR可部線の沿線、広島県安芸太田町で開催された「三段峡サミット」は、存続運動にもかかわらず鉄道の廃止が決められてしまった地域等の住民代表と、アドバイザーとして学識経験者や鉄道事業者が一堂に会し、日本はこれから鉄道をどのように維持し、再生させていくのかというテーマで開催されました。基調講演は京都大学大学院助教授の中川大先生、コーディネーターは岡将男RACDA会長、その他、岡山電気軌道の磯野省吾常務もアドバイザーとして参加しました。ROBAの会からは私が総合司会として参加しました。現状の要因として浮き彫りになったのは道路と鉄道の圧倒的な予算規模の格差。結果、鉄道の維持・整備に使える財源が行政にないこと。でも、会議の最後に中川先生が示された、「国の政策が変わろうとしている。長期を見据えた時、今が頑張りどころ。」というコメントが参加者や観客の心に重く響いたのではないのでしょうか。

鉄道まちづくり会議編「どうする？ 鉄道の未来 地域を活性化するために」刊行致しました。(文：清水)

活動報告

- 12月 1日 まちづくり懇談会オープンセミナー
「まちなか駐輪場の適正配置と
放置自転車について」
- 12月 7日 12月運営会議
- 12月 11日 どうする京都の交通とまちづくり
(参加・清水)
- 12月 11日 乗って残そう貴志川線シンポジウム
(参加・高橋)
- 12月 18日 臨時総会・ROBA忘年会

今後の予定

- 1月 11日(火) 1月運営会議
- 1月 19日(水) まちづくり懇談会
「まちなか駐輪場の適正配置と
放置自転車について」
- 1月 28日(金) 1月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

環境リスク学 不安の海の羅針盤

中西準子 日本評論者 1800円+税

最近、辛口書評が多く、特定の人へのお奨めすることが多かったゆうじんの部屋であるが、この本は手放しでお奨めする。私の思想遍歴そのものをたどるような本で、あり、私は大いに共感したし、異なる価値のバランスに悩む人たちには示唆を受けるところが大いにあると確信する。

下水道の大規模化を批判してきた著者が、変節と言われながらも、経済と環境のバランスの基準を真剣に考えるようになる過程、それは、さまざまな環境紛争を解決するには、リスク評価しかないという現場に根ざした知恵である。

私の大学時代は、ちょうどリスク評価が定着する時期で、例えば橋の強さを決めるとき、橋が破壊した場合の損失と、破壊する確率を下げるための費用が過大となり、他の価値ある行為に回せる資源を減らしてしまう損失のバランスから決めるという考え方が常識になってきていた。

クルマに依存した都市と、公共交通の充実した都市で、平均損失余命(QOL 損失を含む)を比較するといった手法でどちらがいいか比較したりできないだろうか。(ちなみに本の中では、県立大の岡先生の名前も出てきます)

(美濃部)

第 26 回まちづくり懇談会報告

日 時：12月1日(水) 19:00～21:00 場 所：県民会館5F 研修室

参加者：ROBA/内田、清水、畑 まちなか NPO/永井、村北、古市 コラボ NPO/牧野

議 題：1、商業地区の駐輪について

駅前商店街周辺で駐輪について現在感じていることと現状

- ・駅前商店街周辺では、買い物客の自転車と放置自転車をどのように識別し、どのように対応すべきか困っている
- ・駅前商店街周辺の放置自転車は福井駅周辺ほどではない。
- ・商店街側で撤去してもいいが、道路管理者である福井市の許可が下りないのでできない。
- ・勝木書店と五十嵐ビルの中の駐輪マナーが悪い

現状で考えられる駐輪の利用実態

- ・通勤や通学でバスや電車を使うために利用している ・買い物のために利用している
- ・処分するために利用している

駐輪についてのいくつかの解決アイデア案

- ・防犯カメラを用いてどこへ行くのか、どのような人が駐輪するのかを調べる
- ・短時間駐輪(ちょいリン) できるスペースと長時間駐輪(リン) できるスペースのゾーン分けをする
- ・折りたたみ自転車をコインロッカーに入れて、まちなかで過ごせるようなスタイルの提案をしてはどうか
- ・放置の種類や人などを防犯カメラを用いて、「どこへ行くか」「どんな人か」の実態を調べて分析してはどうか
- ・放置を撤去するシステムを具体的に考える ・自転車等の放置防止に関する条例を見直す

ルールづくりに向けて、

ルールづくりの理念

< どのような手段を使って来ても、まちに来る人は大切なお客様です！ >

ルールづくりの方針

、どこに止めてもいいでは困るので駐輪禁止区域をつくる。、短時間駐輪スペースを小規模分散させる。

ルールづくりの今後の課題

、放置自転車の撤去のシステムづくりの検討、自転車等の放置防止に関する条例の見直し提案、通勤・通学で利用する人のための駐輪場の確保

議題：2、サラダボウル(チャレンジショップ横のコミュニティ施設)の活用方法について

- ・県からの要請で今後のサラダボウルの使い方について検討して欲しいとの依頼があった。(コラボ NPO に対して)
- ・2005 年度からは NPO が運営していく事になる?
- ・その場合の活用方法や運営方法について、日を改めて具体的に検討して欲しい。
- ・そのための準備組合? 準備委員会? が 1 月頃に発足予定

【次回開催】

日 時：1月19日(水) 19:00～21:00

場 所：サラダボウル(ガレリアモトマチ)

議 題：～商業地区の駐輪場のあり方を考える～

商業地区(中央1丁目)でどのように駐輪してもらうかについて地図に落とし込み、上記4番で書かれた方針に基づき、具体的なルールづくりについて検討する予定。

(内田)

のりのりマップ、学校へ行く 041203

小中学校の総合学習などで、のりのりマップの活用がまもなく実現しそうです。

昨年、のりのりマップ発行のときから計画していながら、印刷の関係で間に合わず実現にいたらなかったのですが、ようやく、今回11月に福井市教育委員会にミニマップ1500部を渡して、利用してもらうことで話が進みました。

福井市内の各小中学校に20部ずつ配布されて、すでに数校で具体的な計画が進められているということです。そのため、学校教育課長、担当者と意見交換を行い、さらに500部を今回追加することになり、12月3日に贈呈式を行いました。



ROBAから学校教育課への贈呈



内田会長と横山課長

横山学校教育課長からは、「たいへんすばらしいマップを提供していただき、ありがとうございます。教材としておおいに活用させていただきます。」とのうれしい言葉をいただき、内田会長は「子供のころから、バスや電車で親しんでもらう機会を増やしてください。」と熱いエールを送っていました。

後日、すでに問合せのあった数校で活用の様子を見学させていただくことや、必要に応じて一緒に参加させていただく機会をもうけることなどについても、情報交換しあいながら、すすめていくことになりました。

こどもたちが、みんなでマップを囲んでどのように行動しようかを検討したり、マップを手にしてみんなで相談しながらまち歩きを楽しんだりする様子を想像すると、なんだかうれしくなりますね。

(マップ部会：林 博)

NPO 法人 ROBA 定款の変更

平成16年12月18日設立総会において、既に郵送でご案内している定款が修正のうえ、可決されましたので以下のとおり修正変更部分を案内致します。

第4条を以下のとおり変更します。

- (1) まちづくりの推進を図るための活動
- (2) 教育の推進を図る活動

第1号議案（設立趣意書）下から4行目

修正前：その実現のためにも行政との協働をより推進し

修正後：その実現のためにも行政・事業者・地域住民・NPOとの協働をより推進し

第3号議案（定款）

13条2

修正前：理事のうち、1人を会長、2人を副会長とする

修正後：理事のうち、1人を会長、1人以上2人以内を副会長とする

14条2

修正前：会長および副会長は理事の互選とする

修正後：会長および副会長は理事の中から総会において選任する

14条2

修正前：当該理事開会最後最初に

修正後：当該理事会開催後、最初に

第7号議案（16年度収支予算）

上段取り消し線は金額変更前

科目	金額（単位：円）		
経常収入の部			
1 会費収入			0
2 事業収入			800,000 600,000
公共交通まちづくり事業	800,000 600,000		
公共交通の活性化事業	0		
LRT 計画事業	0		
交流・協働・啓蒙活動	0		
3 寄附金			500,000
4 補助金			0
経常収入合計（A）			4,300,000 1,100,000
経常支出の部			
1 事業費			500,000 300,000
公共交通まちづくり事業	500,000 300,000		
公共交通の活性化事業	0		
LRT 交通事業	0		
交流・協働・啓蒙活動	0		
2 管理費			
事務局費	10,000		
広報費	10,000		
3 予備費			30,000
経常支出合計（B）			550,000 350,000
経常収支差額（A - B）= C			750,000
その他資金収入の部			
1 固定資産売却収入			0
2 借入金収入			0
その他資金収入合計（D）			0

そもそもNPOとは……

当初は、個人的にNPO法人取得には反対でした。それは、何も無理して格好つける必要はないのでは？との気持ちが強かった。ひとつには、我々はきちんとした目標を立ててそれなりの基準でしっかり活動している。それに、外部から一定の評価もそこそこいただいている等々。

なぜ、あえてNPO法人取得が必要なのか？

知れば知るほどNPO

しかし現実を直視すると、内田会長の献身的な活動を無視しての会の存続はあり得なかった。それとこの活動の継続性をだれが担保するのか。そう思うと単なるボランティアであれば、何時でも活動を休止することができる。しかし、我々は高い理想と夢を掲げており、おいそれと止める訳にはいかない。だったら、NPO法人格を得て活動するべきなのではないかとの個人的な結論に至った。

NPO分科会の立ち上げ

昨年5月から、少しずつ勉強会みたいな形で提案をしてきて、7月8日に第1回目の「NPO分科会」を立ち上げた。このときには、少なくとも平成15年の冬には認証を得ようとの意気込みで分科会をスタートさせた。他のNPOの事業計画書などももらい、種々検討を開始し始めたが、少し、性急すぎるくらいはあった。それと活動もそれなりに活発でやらなかなの意気があったが、活動の忙しさにかまけて「NPO」設立に関して少しずつ熱が醒めてきてしまった。

NPO法人設立総会の開催

幹事だけとかある特定の人たちだけでNPO法人取得を押し切るのはやめようとの意見から全員へのアンケートを実施した。途中PCの不具合から2度も同じアンケートをやり直すというハプニングがあったが、何とか実施した。NPO取得時機の設問においては約65%の方が法人取得の時機であるとの回答があったのを基本として「NPO法人格取得」という具体的な活動を開始。

定款、事業計画、収支予算等について何回かの協議を経て、年の瀬も押し寄せた平成16年12月18日にNPO法人設立総会を迎えることができました。お忙しいなか20名(委任状2名)もの方が出席され無事総会が終了しました。みなさんのご協力があったればこそでした。

これから、認証に向けて、県との協議がありますが、何とか平成18年度内の認証の道筋が見えてきました。あとひとふんばりです。



総会の風景



承認された設立当初の役員の方々

【文責：八州 太郎】

この1年を振り返って

ROBAの会会長 内田桂嗣

2004年も終わろうとしています。この1年を振り返ると、メリハリのある1年であったように思います。

春は「全国都市再生モデル調査」の仕上げに多くの時間を費やしました。この種の取組自体が全国ではじめての試みであり、前例がないという状況でのスタートでしたが、内容的にはこれまでのROBAの会の活動と現在進行形で行っている活動そしてこれからの公共交通とまちづくりのありかたを自問自答しながらの作成となったのですが、自分達の思いをわかりやすい言葉で文章に表すことの難しさを痛感いたしました。

夏は「全国バスマップサミット in 福井」の企画・開催及び同時進行で進めていた「のりのりマップ」の改訂をいたしました。バスマップサミットでは、バスマップに関わる多面的な意見交換ができました。そして、新しい言葉として「ホ・ジ・ロ・バ」の紹介があり公共交通とともに人と“みち”のありかたの考え方が示されました。また、改訂の「のりのりマップ」はホームページとの連動をはかり、使い易さをさらに進めました。

秋は各地で開催されました「全国路面電車サミット」や「鉄道まちづくり会議」をはじめ地域の地方鉄道問題を中心とする諸会議への参加をいたしました。また県内でも、「NPOフォーラム」「まちづくりフェア」などを主催・共催で実施いたしました。

冬になると2年越しで検討を重ねてきましたNPO法人の設立に向けて設立総会開催されました。12月申請手続きの後、来年3月には認証の予定となっています。

2001年2月に設立しましたROBAの会も来年で丸4年になります。この4年間の活動で、継続開催しているものがいくつかあります。具体的には、運営会議（準備会）、月例会、ROBAニュースの発行、まちづくり懇談会ですが、やはり継続は力ですね。こんなことの積み重ねがROBAの会の体力として備わってきたのではないのでしょうか。来春はNPO法人として再スタートいたしますが、活動になんら変わることはありません。

地域に貢献できるNPOとして、ROBAの会発足時の初心どおり「わたしたちが楽しめるまちづくり」を「楽しみながら活動しよう」という精神は忘れないでいようと思います。

平成16年12月25日

作/漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林（変集長）

「ピア前バス停みんなでつくりませんか！」

清水（副編集長）

「福鉄本社屋、何とか保存できませんかね・・・」

川口（副編集長）

「今年も短かったなー！」

内田（発行責任者）

「今年も、ぎょう-さん動いて、よう-しゃべったのう~。」

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog.nifty.com/roba/home/>